

令和3年度 伊予市事務事業に伴う温室効果ガス排出量

伊予市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、令和3年度から令和7年度の5年間を計画期間とする「第4次伊予市地球温暖化対策実行計画」を策定し、地球温暖化対策の推進を図っています。「実行計画」に基づき事務事業から生じる温室効果ガスの排出量を毎年公表します。

【令和3年度】

項目		単位	活動量	温室効果ガス排出量 (単位：t-CO ₂)	割合
燃料 使用量	ガソリン	ℓ	39,303	91	1.58%
	軽油	ℓ	7,985	20	0.35%
	灯油	ℓ	195,382	486	8.46%
	A重油	ℓ	4,200	11	0.19%
	L P G	m ³	34,364	205	3.57%
電気		kwh	9,057,123	4,933	85.85%
合計				5,746	100%

※端数処理により他報告等と数値に差異がでます。

【基準年との温室効果ガス排出量比較】

(単位：t-CO₂)

項目		令和3年度	平成30年度 (基準年度)	対基準年 増減率
燃料 使用量	ガソリン	91	136	-33.09%
	軽油	20	39	-48.72%
	灯油	486	807	-39.78%
	A重油	11	21	-47.62%
	L P G	205	152	34.87%
電気		4,933	5,722	-13.79%
合計		5,746	6,877	-16.45%

◇温室効果ガス排出量が基準年と比べ大幅に減少している要因は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による活動量の減少と、電気に係る排出係数に伴う減少だと考えられる。

◇令和3年度の結果にとらわれず、引き続き、地球温暖化対策の推進を図る。